

## 北大病院心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院保健科学研究院心血管エコー研究室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

[研究課題名] スペックルトラッキング法を用いた肥大型心筋症の左房心筋メカニクスの解析

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博  
北海道大学大学院保健科学研究院 伊達 広行

[研究責任者] 岡田 一範（保健科学研究院・助教）

### [研究の目的]

近年、心臓超音波（心エコー）検査の三次元スペックルトラッキング法という手法により、心筋壁の伸縮を立体的に評価できるようになりました。肥大型心筋症では左心室の拡張りが不十分になるために左心房の心筋に負担がかかり、その伸縮に異常が生じると考えられますが、その詳細はよくわかっていません。そこで、私たちは、北大病院の過去の心エコー検査、とくに三次元スペックルトラッキング法の結果をみなおすことにより、肥大型心筋症における左房心筋機能異常の詳細を明らかにしたいと考えました。その成果を、肥大型心筋症患者さんの心不全の診断、治療および予防に役立てたいと考えております。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2009年4月から2016年2月までの間に、北海道大学病院を受診され、担当医が診療のために必要と判断して心エコー検査が行われた肥大型心筋症の患者さん（目標30例）および同時期に心エコー検査が行われたうち、心疾患や心臓に影響する全身疾患がなく、心エコー検査上も異常を認めなかった患者さん（目標30例）。

#### ●利用する診断情報

年齢、性別、診断名、病歴、家族歴、血圧、身体所見、心エコー検査記録、臨床経過および治療内容

本研究にあたっては、患者さんの個人情報保護に十分配慮します。研究担当者が北大病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後は、お名前、ご住所をはじめ、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際、患者さんの個人情報には一切触れることはありません。

\*上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北 12 条西 5 丁目

北海道大学大学院 保健科学研究院 助教 岡田 一範（研究責任者）

電話：011-706-3730, FAX：011-706-3730